

館名	広島市中央公民館 (ほか広島市内公民館)																														
事業名	リモート公民館ひろしま																														
趣旨	<p>○コロナ禍においても公民館がこれまで提供してきた集合対面型の事業をオンライン活用によって補充するとともに、幅広い学習成果の発信や公民館の未利用層へのアプローチにつなげる新たな事業展開の構築を図る。</p> <p>○広島市内の複数の公民館を中心に、施設利用グループや市民団体等とも連携しながら、リモートの特性を生かした事業を展開する。</p> <p>○アフターコロナに向けて、持続可能な公民館事業を構築する。</p>																														
特徴	<p>○リモート状態でも実施可能な事業を展開。</p> <p>○ホームページやYouTube等を活用した成果発表会事業を開催。</p> <p>○公民館や地域間をオンラインで結ぶ事業を展開。</p> <p>○複数の公民館が連携したリモートイベント事業を開催。</p>																														
事業の様子																															
	<p>(1) オンライン・ミーティング 全8回</p> <p>リモート事業の企画・調整、事業サポートのための研修・活動報告、事業実施にかかる運営スキームの研究、情報交換、ネットワーク事業ミーティングなど。</p> <p>(2) 公民館リモート活用事業 (タイプ別に分類) の支援</p> <p>①会場を分散させて3密を回避した事業</p> <table border="1" data-bbox="284 1720 1388 1955"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">事業名</th> <th rowspan="2">回数</th> <th colspan="4">参加者数</th> </tr> <tr> <th>計</th> <th>メイン</th> <th>サブ</th> <th>リモート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">可部公民館</td> <td rowspan="2">満喫!かべ学 第5回3月9日 (3月実施予定)</td> <td>4回</td> <td>194</td> <td>145人</td> <td>49人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1施設</td> <td>1事業</td> <td>5回</td> <td>194人</td> <td>145人</td> <td>49人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施設名	事業名	回数	参加者数				計	メイン	サブ	リモート	可部公民館	満喫!かべ学 第5回3月9日 (3月実施予定)	4回	194	145人	49人		1回	人	人	人		1施設	1事業	5回	194人	145人	49人	
施設名	事業名				回数	参加者数																									
		計	メイン	サブ		リモート																									
可部公民館	満喫!かべ学 第5回3月9日 (3月実施予定)	4回	194	145人	49人																										
		1回	人	人	人																										
1施設	1事業	5回	194人	145人	49人																										

②会場とリモートのハイブリッドで実施した事業

施設名	事業名	回数	参加者数			
			計	メイン		リモート
三篠公民館	横川式！地域活性化術	1回	30人	21人		9人
三篠公民館	Zoomでママトーク	1回	★20人 (10人)	★8人 (4人)		★12人 (6人)
安公民館	子どもの病気に関する講演会	1回	★17人 (5人)	★14人		★3人
2施設	2事業	3回	67人	43人		24人

★は、親子での参加人数
() は、子供の人数

③部分リモートで実施した事業

施設名	事業名	回数	参加者数			
			計	メイン	サブ	リモート
中央公民館	オンラインスイーツ教室	4回	★24人 (12人)			★24人
中央公民館	国際理解講座	1回	21人			21人
中央公民館	オンラインサマースクール ～ブックトーク～	1回	3人 (小学生)			3人
中央公民館	レッツトライクッキング	1回	12人 (小学生)			12人
三篠公民館	おはなしボランティア研修会	1回	7人			7人
市内公民館 (19館)	ゲンビアートクルーズ	1回	30人 (小学生)			30人
1施設	6事業	9回	97人			97人

() は、子供の人数

※「ゲンビアートクルーズ」は、当初サテライト会場に公民館を予定していたがコロナ感染拡大のため急遽オンラインで自宅から参加してもらうことになった。

※部分リモートは、講師・スタッフと参加者が別の場所にいるタイプ。

④完全にリモートで実施した事業

施設名	事業名	回数	参加者数			
			計	メイン	サブ	リモート
中央公民館	社会教育実習生受け入れ	1回	7人			7人
中央公民館	赤ちゃんといっしょ♡	4回	★62人 (31人)			★62人
中央公民館	オンラインちゅうこう 第5回3月4日 (3月実施予定)	4回	★72人 (36人)			★72人
		1回	人			人
中央公民館	◎ちゅうこう (急遽オンライン対応)	5回	★126人 (63人)			★126人

中央公民館	Happy に子育て	2回	★50人 (25人)		★50人
中央公民館	オンラインサマースクール おうちで大実験	2回	17人 (小学生)		17人
竹屋公民館	竹屋コミュニティガ ーデナー	1回	9人		9人
三篠公民館	Zoom でプレママトー ク	2回	7人		7人
三篠公民館	赤ちゃんといっしょ ♡	4回	★32人 (16人)		★32人
三篠公民館	Zoom でママトーク	4回	★62人 (31人)		★62人 (31人)
三篠公民館	やさしい日本語	1回	29人		29人
可部公民館	赤ちゃん・小さな子が いる 家庭の家事時短講座	1回	★12人 (6人)		★12人
可部公民館	子育て応援講座 我が家の未来計画マ ネープラン講座 (3月実施予定)	1回	人		人
可部公民館	◎人権教育講座 「勝手にSDGs調査団」	2回	10人		10人
可部公民館	◎可部山まゆ同好会 ジュニア 何でも飼育相談会	4回	★36人 (18人)		36人
可部公民館	赤ちゃんといっしょ ♡ (3月実施予定)	4回	人		人
白木公民館	◎子どもプログラミ ング教室 (小学生)	2回	4人 (小学生)		4人
白木公民館	◎青少年プログラミ ング教室 (中高生)	2回	3人 (中高生)		3人
坪井公民館	夫婦で学ぶ パートナーシップ講座	2回	11人		11人
6施設	17事業	77回	549人		549人

★は、親子での参加人数

() は、子供の内数

◎は、対面からオンラインに変えた事業

⑤オンライン人口を増やすための ICT 事業 (Zoom 普及の取り組み)

施設名	事業名	回数	参加者数			
			計	メイン	サブ	リモート
湯来西公民館	初めてのパソコン講座	1回	5人	5人		
リモコひろしま	テクニカル研修	1回	18人	18人		
安公民館	Zoom 入門	2回	28人	28人		
安公民館	オンラインふれあい Zoom	2回	39人			39人

白木公民館	中高校生プログラミング教室	1回	3人 (中学生)	3人		
白木公民館	スマホの基本の「き」	1回	15人	15人		
4施設	6事業	8回	108人	69人		39人

() は、子供の内数

⑥ホームページ等の SNS を使った成果発表事業

施設名	事業名	回数	期間	視聴回数
可部公民館	オンラインギャラリー	3回	R3. 4. 17～6. 30	373回
			R3. 11. 1～11. 30	166回
			R3. 11. 1～R4. 1. 31	126回
1施設	1事業	3回		665回

⑦公民館や地域間をリモートで結ぶ事業

施設名	事業名	回数	参加者数			
			計	メイン	サブ	リモート
似島公民館 湯来西公民館	オンライン旅行講座 (3月実施予定)	1回	人	人		人
1施設	1事業	1回	人	人		人

★は、親子での参加人数

⑧YouTube で配信したリモートイベント事業

施設名	事業名	回数	期間	視聴回数
市内公民館 (13館)	リモート公民館ライブ発表会	1回	11/21(ライブ視聴)	210人
			R3/11/21～R3/12/31	1,530回
似島公民館	読み聞かせライブ バームクーヘンとあ つくんの旅 (3月実施予定)	1回	3月20日(日)	人
可部公民館	安佐北演劇空間 (3月実施予定)	1回	—	—
13施設	2事業	2回		1,530回

【成果】

◎公民館リモート活用事業（タイプ別に分類）の成果

○会場を分散させて3密を回避した事業

- ・収容定員を制限しなければならない状況の中、参加者を分散させることにより、1人でも多くの人に参加できる機会を作ることができた。
- ・サブ会場を設置することで、子ども連れの人や人の多い場所が苦手な人などが参加しやすくなった。
- ・当日の飛び込み参加にも対応することができた。

○会場とリモートのハイブリッドで実施した事業

- ・参加者本人に集合・対面型とオンライン型の参加形態を選択してもらうことができた。
- ・学生や仕事終わりの若手社会人、夜間の外出が難しい高齢者等が参加する事ができた。
- ・急遽、出席できなくなった参加者がリモートで参加する事ができた。

○部分リモートで実施した事業

- ・講師側のネット環境の不備等でオンラインでの講義経験のない講師も、初めてオンラインで講義をすることができ、リモートでも講師ができるスキルを身につけることができた。
- ・複数の公民館や団体と連携することで、相互の知識やノウハウを共有することで、ネットワークづくりを行う大切さを実感した。
- ・広島市内の複数の公民館がサテライト会場になり、主会場で実施した講義を多くの場所で参加することができた。

○完全にリモートで実施した事業

- ・自粛期間中においても、オンラインでの実施に切り替えることにより、事業を中止することなく実施することができた。
- ・子育て中で外出が難しい人や集合・対面型での参加に抵抗感のある人がつながる場として有効であった。
- ・オンライン料理教室は、すべての工程を参加者が行うことにより、学びを深めることができた。参加した小学生の保護者からは、講座終了後も自宅で何度も料理を作ることができたと連絡が届いた。
- ・講義内容に精通した遠方の講師に依頼することができた。

○オンライン人口を増やすための ICT 事業

- ・集合・対面型での講座終了後に、引き続いてオンライン型での実践編につなげていくことにより、参加者のスキルアップにつながった。
- ・テクニカル研修をすることにより、新たなリモートを活用した実施方法がある事を知り、新たなリモート事業を考えるきっかけとなった。

○ホームページ等の SNS を使った成果発表事業

- ・遠方の方や自粛期間中も見られる機会を提供できた。
- ・学習成果発表やグループ PR の場となった。
- ・グループ活動のモチベーション維持の一助となった。

○公民館や地域間をリモートで結ぶ事業

- ・公民館や地域間、離れた場所同士をリモートで結ぶことにより、地域間交流や関係人口づくりの一助となった。
- ・お互いの地域情報を学ぶきっかけづくりとなった。

○YouTube で配信したリモートイベント事業

- ・不特定な人をたくさん集めるイベントが開催できない中、活動グループの成果発表会を開催することができた。
- ・YouTube など SNS 上で広く学習成果を発信することができた。
- ・エリアを超えた複数の公民館が連携したことで、職員同士のネットワ

ークづくりやスキルアップに役立てることができた。

- ・リモート事業への理解をほかの公民館に広げるきっかけにすることができた。
- ・イベントを実施することで広く周知され、市民に公民館活動を知ってもらうことができた。
- ・ライブ配信や Facebook ページ掲載などで、若年層や未利用層へアピールすることができた。

◎全体の成果

- ・デジタルトランスフォーメーションが推奨されている現代の社会において、今後の公民館のあり方も変化が必要な時期に来ている。コロナを転機に公民館の事業についての見直し、リモート公民館がチャレンジしてきた事業・成果を周知していくことで、公民館の新しい時代を築く一助になると思う。
- ・コロナ禍2年目となり小さい赤ちゃんを持つ親のための家庭教育学習会やしあべり場は、継続することで認知されている。継続することが大切である。
- ・Zoomの契約をする公民館も増え、リモート事業に取り組む公民館が増えてきた。
- ・公民館がインターネットを活用した事業を取り入れることで、学びのコンテンツの幅を広げることができた。
- ・全国公民館インターネット活用コンクールで「銀賞」を受賞した。公民館がインターネットを使った事業ができる事を市民に PR することができた。
- ・県や全国公民館連合会セミナーで事例発表をし、リモート公民館ひろしまの活動を全国の公民館に PR することができた。今後の公民館リモート事業の参考にしてもらえる機会となり対外的にも大きな成果となった。→セミナーの様子 <https://youtu.be/Tkp-VIbsjJM>
- ・広島市内公民館の職員研修やミーティングなどもオンラインで実施することが増え、無関心や苦手意識を感じていた職員に変容が見られた。

【課題】

- ・小人数職員体制の中、単館では実施しにくいため、オンライン事業が運営できる市民グループや講師の発掘、市民サポーターの育成、他館の職員の協力体制づくりが必要。また、広島市内公民館をつなぐための組織的な体制作りも必要である。
- ・関係人口の増加やSDGsの推進など人口減少に伴う地域課題の解決に役立てるとともに、災害等緊急事態に備える住民自身のセーフティネットとして、誰もがICTを活用できる社会を創ることが喫緊の課題である。

【運営した感想】

- ・コロナ前の公民館では考えることのなかった「新しい公民館事業」について考え、取り組むことができたことが大きかった。
- ・インターネットが予想していたよりも不安定で、心配になることが多々あったが、事前に準備（リハーサル、予備のパソコンを設置等）を行うことにより、安心して取り組むことができた。また、人的支援が充実しており、トラブル対応も冷静に行うことができた。市内の公民館や連携・協働する団体とのつながりづくりや、団結することの大切さを実感した。

	<p>【工夫したこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモート機材が充実してきたので、1年目には難しかったことに挑戦することができた。 ・「リモート公民館ひろしま」は、広島市内の公民館がリモート事業に挑戦しやすいように支援ができれば良いと考えていたので、リモート事業に挑戦するきっかけになるように他館に事業案内の情報提供を行った。 <p>【今後に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン開催の研修等が増加しているので、参加等が困難な人へ支援を行っていききたい。 ・時代の変化を意識しながら柔軟に対応できる公民館でありたいと考えているため、Zoomの機能を活用し、広島市内の公民館でより充実したネットワーク形成を行っていききたい。 ・リモート事業を遠方の方や外に出にくい方を対象に実施することにより、公民館利用者を増やす。 ・広島市内のリモート事業に取り組んだことのない公民館に実際に事業を実施している様子等を「見える化」し伝えることにより、リモート事業に挑戦する意欲を高め、公民館の輪を広げていききたい。
連絡先	<p>広島市中央公民館 〒730-0005 広島市中区西白島町 24 番 36 号 電話：082-221-5943 ファクシミリ：082-221-5118 E-mail: chuo-k@cf.city.hiroshima.jp</p>